ＣＢＩ研究機構 量子構造生命科学研究所
中性子産業利用推進協議会 生物・生体材料研究会、中性子構造生物学研究会
J-PARC MLF 利用者懇談会 生命物質分科会（構造生物学研究会）
合同シンポジウム開催案内

「AI のヘルスケアへの貢献」

主催：ＣＢＩ研究機構量子構造生命科学研究所、中性子産業利用推進協議会、
J-PARC MLF 利用者懇談会　生命物質分科会（構造生物学研究会)、
総合科学研究機構(CROSS)

後援：茨城県、中性子生命科学連携研究会

１．開催日時： 2026 年 10 月 23 日（金）13:00～16:45

２．開催方法： ZOOM によるオンライン開催
＜接続 URL は 10 月 21 日頃にお知らせする予定です＞

３．参加費 ： 無料

４．開催趣旨：本年度は、「AI のヘルスケアへの貢献」と題して、今回と３月（現地開催予定）の二回に分けてシンポジウムを実施する。アルファフォールド以来、ウェットデータは、創薬に関しては、まだ圧倒的に足りていない現状を踏まえ、実際に創薬に有効に AI を利用して、その精度を高めていくためには我々は手法の開発も含めさまざまな方面での工夫が必要である。

５．プログラム（敬称略）
１３：００－１３：０５ 開会挨拶、開催趣旨説明
CBI 研究機構量子アカデミア構造生命科学研究所長 / 中性子産業利用推進協議会 生物・生体材料研究会主査　　上村みどり

司会 玉田　太郎
１３：０５－１３：５５　「FMO 計算と AI が拓く次世代創薬シミュレーション」
森義治（九州大学大学院システム情報科学研究院　准教授）

１３：５５－１４：４５　「J-PARC MLF における AI 活用の現状と将来構想」
中村充孝（J-PARC　物質・生命科学ディビジョン　副ディビジョン長）

司会：藤間　祥子

１５：００－１５：５０　「AI と共に進める創薬 ― 創薬研究の現場から見る実践と模索
熊澤啓子　（帝人ファーマ株式会社　創薬研究所/帝人グループ研究主幹）

１５：５０－１６：４０　「統合的計算化学手法による生体機能解析と創薬支援技術」
重田育照　（筑波大学計算化学センター教授）

１６：４０－１６：４５閉会の辞
杉山正明　（京都大学複合原子力科学研究所/中性子生命科学連携研究会
構造生物学研究会主査）

6. 申込方法：　以下の申込フォームからお申込み下さい。
https://forms.cloud.microsoft/r/FDgm4JJZSp

※ご入力いただいたメールアドレスにお申込み確認のメールが自動的に送信されます。
返信が確認できない場合、あるいは、上記申込フォームが利用できない場合には、
ご所属、お名前、E-mail アドレス　を本文に記して、中性子産業利用推進協議会まで E-mail（アドレスは下記）でお申込みください。

7. 参加申込締切：2026 年 10 月 16 日(金)

＜問合せ先＞　中性子産業利用推進協議会（略称：IUSNA）
〒319-1106　茨城県東海村白方 162-1 いばらき量子ビーム研究センター D201
TEL：029-352-3934　FAX：029-352-3935（火曜日と木曜日のみ勤務）
E-mail: info@j-neutron.com

8. Zoom 接続情報
＜接続 URL は 10 月 21 日頃にお知らせする予定です＞

9. アンケートのお願い
次回以降の開催の参考とするため、本研究会終了後にアンケートをお願いしています。
ご協力をお願いいたします。

以上